

浮金小だより



発行：平成31年1月25日（金）

文責：浮金小学校長 松崎 健一

子どもは風の子



高学年の皆さん、いつも進んで動いてくれてありがとう。

1月22日の朝は雪かきからのスタートでした。登校してきた5・6年生の何人かが、すぐに手伝ってくれました。校庭も一面真っ白で、5cmぐらいいは積もっていました。1年生にとっては待ちに待った日です。生活科の学習の一環で雪遊びをする計画が立っていました。外はかなり強い風が吹いて寒そうでしたが、そんなことはおかまいなし。必死になって大きなスコップで一気に雪をかき集め何かを作ろうとしています。とても楽しそうです。



また雪が降るかな。今度は全校生で遊んでみたいですね。

奨励賞をいただきました！！



福島県教育委員会主催の「ふくしまを十七字で奏でよう絆ふれあい支援事業」には、毎年、ご家族の協力を得ながら全校生が参加しています。今回、1年生の結人さんとお母様が作った作品が県中教育事務所奨励賞を受賞しました。この賞は県中地区1万57組の応募の中から選ばれた25組に贈られた賞です。おめでとうございます。心温まる親子の姿が素直に表現された作品でした。



<1月21日：全校集会>

【絆部門：奨励賞作品】

子：おかあさん ぼくのきもちが なぜわかる
母：すごいでしょ お母さんはね 魔法使い

「宗像先生、ありがとう」

9月から理科の授業や実験の支援をしていただくために、サポートティーチャーの宗像先生に来ていただいていた。22日がその最終日でした。

3～6年生は、実験の準備や片付けなどで大変お世話になりました。



最終日だとわかっていた子どもたちは、宗像先生へ感謝のメッセージカードを準備していました。「ありがとうございました。」

「また、皆さんの成長した姿を見に来ますからね。」と、宗像先生からお言葉をいただきました。



食育指導 2年生

調理員さんありがとう。残さず食べるぞ！

栄養教諭の松本先生に来ていただき、食事のマナーについて学習しました。給食センターで給食を作っている様子や片付けている様子のビデオを見ながら、調理員さんたちの苦労や工夫、願いについて教えていただきました。子どもたちは、調理員さんたちの苦労や思いを知り、「簡単に給食を残しちゃいけない。」「これから残さないで食べよう。」と思ったようです。



授業の後は実践です。松本先生と一緒に楽しく給食をいただきました。もちろん食缶はきれいに空っぽでした。ごちそうさまでした。



安全のためにご協力ください。



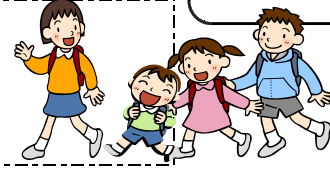
登下校時の子どもたちの安全を強化するため、**お子さんを車で送迎する際は、旧JA跡地の砂利の駐車場での乗り降りにご協力ください。**

また、教職員は敷地内を駐車場として使用していますので、細心の注意を払いながら子どもを優先にした運転に努めます。

数年前、郡山で起きた事故ですが、子どもが忘れ物を届けに来た際に保護者が校門を入ったところで登校中の子どもをひいてしまった事故がありました。

次の場合は、学校敷地内に最徐行で入ってきてください。

- お子さんが怪我のため歩くことが困難なとき
- お子さんが体調を崩し早退をするとき
- 学校に用件があり来校される時



雪が降る季節でもあり、これから車での送迎が増えることと思います。送迎中の運転については、安全運転はもちろんですが、同乗する子どものシートベルト着用も忘れないようにしましょう。

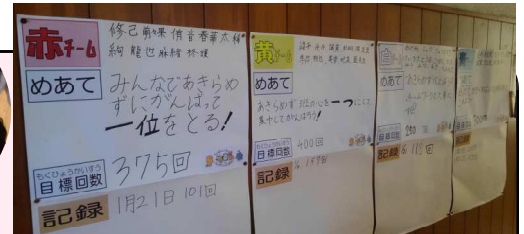


もう一つ 第6分会（貝屋、須和間）の下校の仕方について見直しをしました。県道を下校する際、本校プール前の横断歩道のないところを渡っていました。少し遠回りにはなりますが、ジスケ商店前の信号機のある横断歩道を渡らせるのが安全性が高く正しいことです。子どもたちに説明するとともに、しばらくの間、下校時に教職員が付き添って見守ります。

校長室より

～伝統をつなぐ～

みんなで
がんばろう！



今年度も校内なわとび大会が2月に予定されている。子どもたちはそれに向けて練習に夢中である。先日のなわとび集会で、縦割班ごとに競う長なわ跳びに向けて話し合った。目標回数を決め早速体育館に行き練習が始まる。さて、今度の1年生はどれくらいできるんだろうと思いながら様子を見に行った。すると、やはり思うように跳べず苦戦をしていた。目の前を回る長なわにおびえてしまいタイミングがとれない子、8の字跳びでよくあることだが回る長なわの中を結果的に跳ばずに上手にスルーして行く子と様々である。ただ、跳べてはいないけど皆が笑顔でやっている。縦割班で決めた**めあて**は回数だけではないのだ。「あきらめずに…」「心をひとつにして…」「チームワークを大事に…」という大切な言葉が入っていて、それに向かって皆で頑張っているのだ。そして、跳べない1年生にどう教えてあげればよいかを子どもたちは知っている。これまでつないできた伝統である。私は練習の様子を見て、「今年も皆跳べるようになる。」と確信することができた。

こんな姿もあった。下の写真を見比べてほしい。1年前と今年のなわ跳び集会が始まる前の様子である。どちらも先生の指示がなくても班長さんを先頭にきちんと並んで座っている。1年前と変わらず行動することができている。これもつないできた伝統の一つである。6年生の声かけで下の学年は整然と整列をする。当たり前のように自分たちでできるのだ。素晴らしいことである。



< 1年前のなわ跳び集会 >



< 今年のなわ跳び集会 >